

平成30年度 ゼネラルマネージャー活動計画進捗状況報告書

総合的に取り組む 重点課題	子どもを大切にするまちづくり	ゼネラルマネージャー	本田こども未来部長
		幹事会リーダー	町田こども未来部次長 (事務局:こども政策課)
未来(あす)を紡ぐミーティング (ATM)メンバー	こども未来部長、経営企画部長、健康推進部長、教育総務部長、学校教育部長		
幹事会メンバー	こども未来部次長、経営企画課長、健康づくり支援課長、青少年課長、保育幼稚園課長、こども政策担当参事、こども福祉課長、こども支援課長、学校教育部次長、教育総務担当参事、社会教育課長、教育施設課長、教育センター所長		
計画期間における方向性	教育については、学ぶなら所沢と言われる教育環境を実現するため、教職員の力量を高め、十分に力を発揮できる環境を創る。子育てについては、子どもの成長を家族などの身近な人が喜びや生きがいとして感じる事ができる社会を目指す。		
平成30年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実 ・子育て環境の充実 		
活動計画における 平成30年度の活動内容	<p>(1)教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日的課題、次期学習指導要領の移行措置に伴う教職員の研修、調査・研究を充実させるとともに、学び創造アクティブプランを通じた学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。 ・学力向上支援講師を2名増員し、12名配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実と学校の課題解決や積極的な教育活動推進を図る。 ・各学校が地域の特性を踏まえ、創意工夫を生かした学校づくりを推進する。 ・各学校の「児童生徒の心に寄り添う教育相談体制」の充実を図る。 ・児童生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供するために学校給食センターの再整備を進める。 <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図るとともに、次期計画期間に向け、進捗状況の検証を行い、策定の準備を始める。 ・児童館生活クラブの定員拡大や民設民営児童クラブの活用、児童クラブ施設の整備等により放課後児童健全育成事業の充実を図る。 ・妊娠、出産、育児に関する事業の充実を図る。 ・三世同居(近居)に関する各事業の充実を図る。 ・すべての子どもが生まれた環境によって左右されることなく健やかに成長するための各事業の充実を図る。 		

<p>平成30年度の活動状況 (9月末現在)</p>	<p>(1)教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期所沢市学力向上推進事業「学び創造アクティブプラン」第2年次として、各学校で基本方針と学校・家庭・地域の3つの行動方針に基づき、取組の徹底・充実を図った。 ・4月の学び創造アクティブ研修会では、各学校の学力向上推進担当者を対象に、1年次の成果と課題を踏まえた協議会と、授業改革についての講演会を開催した。 ・授業の構造化を図るために、指導主事が学校指導訪問し「学び創造アクティブプランリーフレット」をもとに、めあて・見通し・学び合い・まとめ・ふりかえりについて、時系列を追いながら具体的な指導を行った。(平成30年度13校／47校中) ・「主体的・対話的で深い学びの視点からの工夫」を主題とした研究を進めるとともに、道徳科や英語教育の充実を図る研修会を実施した。また、学校からの要請に基づく校内研修支援を進めた。 ・児童生徒・保護者・教職員からの教育相談に対応しながら、校内の相談機能を高める研修会の実施や関係機関との連携を進めた。 ・各学校の「児童生徒の心に寄り添う教育相談体制」の充実に向けて指導を校・園長会や学校指導訪問、生徒指導訪問等で行った。 ・新学校給食センター建設用地取得に向け、取得予定地の測量及び不動産鑑定評価を行った。 <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議を1回開催し、子育て支援に関する各種事業の進捗管理及び次期計画策定の準備を行った。 ・児童館生活クラブについて、平成30年度入所から定員を39名拡大した。また、指定管理者の更新に合わせて、平成31年度入所から定員をさらに56名拡大するよう進めた。 ・民設民営児童クラブについて、平成30年度から新たに2か所を開所した。また、平成31年度から開所する1か所の事業者を募集した。 ・並木児童クラブについて、学校内の代替施設に移転し、建て替えを実施するための施設整備工事を着手した。 ・「子育て世代包括支援センター かるがも」限定デザインの母子健康手帳を作成した。 ・産後ケア事業(宿泊型)について、平成30年度新たに市内1医療機関及び市外1医療機関と契約し、現在市内3か所、市外1か所の医療機関で産後ケア事業を実施した。 ・ところっこ子育てサポート事業について、育児相談や保育園・幼稚園等の利用方法など、子育て支援メニューの案内をこども支援課窓口及びこども支援センターで実施した。また、「子育て世代包括支援センター かるがも」において、助産師等の専門相談員が相談、助言及び関係機関等との連携により妊娠期からの支援を行った。 ・こども支援センター「大地」では子育て支援エリア「ルピナス」と発達支援エリア「マーガレット」が連携し、合同事業や夏まつりを実施した。 ・所沢市ホームページで、三世同居を進めるための施策に関する事業について掲載し、周知を図った。 ・すべての子どもが生まれた環境によって左右されることなく健やかに成長するための各事業を推進するため、「子ども・子育て支援事業計画(第2期)」策定にあたり実施するアンケートに関連項目を設定することを検討した。
<p>今後の予定(平成30年度中)</p>	<p>(1)教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び創造アクティブプラン部会別会議(学校部会)を開催し、研修の進捗状況の報告、協議とともに、講師により「効果のある学び合いを実現するためについて」指導いただく。 ・学び創造アクティブプラン研究委託校の授業発表一覧を校・園長会で周知し、市全体の教育力の向上を図るために学校間の学び合いを推進する。 ・引き続き、新学習指導要領に対応した教職員の授業力向上、児童生徒の学力向上や豊かな心の育成のための研修会を実施する。また、研究についてまとめ、2月に研究発表会を行って成果を広める。 ・校・園長会で県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の市全体の結果と分析を周知し、各学校の結果についても分析・活用を依頼する。併せて結果・分析について家庭・地域に公表するように指導する。 ・全国学力・学習状況調査の調査問題を教職員全員で解き、普段の授業改善に活かすように学校を指導する。併せて子供たちにも調査問題を解くことを経験させ、解き直しを丁寧に行うなどの取組を学校に促していく。 ・ノーマディアチャレンジシートの内容について「家読(うちどく)」に特化したものに改良し、子供たちが主体的に読書に親しめるよう「家読(うちどく)」の一層の啓発を図る。 ・学校・家庭・地域連携リーフレットを作成、配布し、家庭や地域の教育力を生かした特色ある学校づくりの推進を啓発する。 ・新学校給食センター建設用地取得(買収)に向けての交渉や手続きを進めていく。 ・学校指導訪問で指導主事が「学び創造アクティブプランリーフレット」をもとに、めあて・見通し・学び合い・まとめ・ふりかえりについて、時系列を追いながら具体的な指導を行っていく。(平成30年度11校／47校中) ・各学校の「児童生徒の心に寄り添う教育相談体制」の充実に向けて、引き続き指導・支援をしていくとともに、不登校予防と児童生徒の学校復帰に向けた取組を継続し、校内の組織的な対応について支援していく。 <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議及び放課後児童対策協議会における意見を踏まえ、次期計画策定の基礎資料とするため、地域の子ども・子育ての実態を把握するアンケート調査を行う。 ・指定管理者と協定を締結し、生活クラブ定員拡大事業の一環として指定管理者と調整しながら必要な環境整備を行う。 ・民設民営児童クラブについて、来年度に開所する1か所の事業者を選定し、委託契約を締結することにより、児童クラブの狭隘化の改善を図る。 ・並木児童クラブについて、施設整備工事が完了後、新施設にて運営を開始し、狭隘化や施設の老朽化による保育環境の改善を図る。 ・こども支援センター「大地」の子育て支援エリア「ルピナス」では引き続き子ども達が安心して過ごせるように安全面を最優先して事業を進め、発達支援エリア「マーガレット」と連携して合同事業を行いながら、相談支援や地域支援の充実を図る。